

1 青少年の意見聴取結果について

No.	意 見	対 応
1	良い意見、アイデアがあるので、ぜひ取り入れてもらいたい。若い力を引き出して、積極的に取り込んでいけば、魅力ある朝霞になる。	今後も大学(大学生)とさまざまな連携を進めていく。
2	本件とは別だが、市民意見交換会の報告はどのタイミングでなされるのか。	次回の審議会において報告をする。

2 基本計画（素案）について【第2章】

No.	意 見	対 応
1	成果指標について、例えば、「高齢者・障害者の虐待通報件数」が増えることがよいことなのかなど、指標の達成によって、市民にとってまちがよくなるのか、結び付かないものがあると感じる。	指標についてはこれまでもご意見を頂き見直してきたところであるが、委員から再度のご指摘を受けたことから、改めて見直しを行う。
2	成果指標の設定を誤っているものが多いので、これならば設定しない方がよい。KPIの考え方を正しく理解し、それに基づき設定する必要があると思う。	
3	大柱1、中柱3に連なっている小柱は、第5次後期基本計画では大柱になっていたものであり、これらを小柱レベルにすることは乱暴に感じる。 また、各柱の担当課をはっきり分けた方がよいのではないか。	地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉等については、課題から施策を検討すると共通するところが多いため、地域共生社会の中に位置づけを行い、横断的に対応していきたいと考えている。
4	市民目線に立ってみると、自分が悩んでいる事柄は、どこに位置づけられるのかが分かりづらい説明、分かりづらい指標になっていると思う。	
5	権利擁護の位置づけは中柱レベルにした方がよいのではないか。	
6	朝霞市における「健康寿命」の定義、算出方法を教えてもらいたい。	国で使用している「健康寿命」は0歳から要介護2になるまでの期間を指している。一方、あさか健康プラン21で使用している「健康寿命」は埼玉県保健統計年報の数値を用いており、65歳から要介護2になるまでの期間を指している。0歳からの健康寿命と65歳からの健康寿命を比べると、0歳からの健康寿命の方が短くなる。 理由は、0歳からの健康寿命を測った場合は、0～65歳までに亡くなる人も含まれるため、65歳からの健康寿命を測った場合よりも値が低くなるからである。

3 基本計画（素案）について【第3章】

No.	意 見	対 応
1	5ページの(2)①個別最適な学びの一体的充実について、教員研修の内容は(4)①で示されているため、ここに記載するのはいいと思うが、最後に追加するのがいいのではないかと。 また、個別最適な学びについての記載がないため、「指導の個別化」と「学習の個別化」を進めることに言及したほうがよい。	教員研修については、ご意見を参考に検討する。 また、個別最適な学びについて記載する。
2	6ページの(2)④教育DXの推進について、答申では、ICTを主体的・対話的で深い学びの実現に生かすだけでなく、学校教育の様々な課題を解決し、学校教育の質的向上に寄与する、とかなり広汎でダイナミックにとらえているが、6ページの記載は表面的で部分的な活用といった印象である。	ご意見のとおりかと思うが、教育DXにはこれからの未知の領域も多いので、表現について検討する。
3	6ページの(3)①共生社会を目指した支援・指導について、タイトルはこのままでいいが本文には「多様性、公平・公正、包摂性(DE&I)ある共生社会」と記載したほうがより明確ではないか。	DE&I(ダイバーシティ・エクイティ、インクルージョン)については、しっかりと表現する。
4	大柱1における各中柱について、もう少し内容が分かりやすい名称にした方がよいのではないかと。	ご意見を参考に、検討する。
5	大柱2、中柱2の成果指標について、参加者数ではなく、充足率や稼働率の方がよいのではないかと。 また、参考実績値についても、博物館企画展示等開催回数ではなく、来館者数の方がよいのではないかと。	
6	博物館の朝霞をPRするブースが古いので、リニューアルしてもらいたい。その際、お金を掛けずに地域や学校と連携してお金を掛けずに作り上げてほしい。	ご意見として承る。
7	スポーツ・レクリエーションは、「健康づくり」、「生涯学習」、「コミュニティ」の要素があるので、縦割りではなく、横断的に考えた方がよいのではないかと。	ご意見を参考に、検討する。
8	15ページの参考実績値にある「市民芸能まつり延べ参加者数」が大幅に増加した理由はなにか。	実績値の計上方法に誤りがあったため、内容を精査し、資料を修正する。

4 基本計画（素案）について【第4章】

No.	意 見	対 応
1	大柱1、中柱2については、テーマとして、大柱に上げるべきテーマではないか。	ご意見を参考に、検討する。
2	環境に関する章の中に、「水」や「緑」の視点がいないことを残念に感じる。	
3	黒目川や緑は朝霞市の魅力として挙げられることが多いため、そういった視点の表現がほしい。	
4	町内会の加入率の考え方について、従来の考え方だと難しいと考える。町内会はマンション単位でも可能なのか。マンションもコミュニティと位置づけてもいいのではないか。	マンションの管理組合を一つの自治会としてもらう考え方もあるが、手法を限定するものではない。自治会連合会と話し合いながら、粘り強く取り組んでいく。
5	「市民生活」という大柱は、テーマの大きさの割に中柱が2つのみで、ほかに入れられなかった余りもののような印象を受ける。名称の変更などを検討してはどうか。	第5次後期基本計画の施策体系である「災害対策・防犯・市民生活」から防災・防犯を特化した結果、今回の体系となった。 名称や内容については、ご意見を参考に検討する。
6	「消費者の自立支援」を中柱に掲げるのであれば、例えば、消費者教育などの視点が含まれていないなど、小柱が一つだけでは不足していると思うので、もう少し内容を検討してほしい。	
7	「環境」は次章の「都市基盤」と同じ章にして、また、「市民生活」は次章の「産業」と同じ章にした方がよいのではないか。	ご意見を参考に、検討する。
8	「関連する個別計画等」の欄に、各計画の中身が分かるように、概要などを追記した方がよいのではないか。 また、ホームページなどに総合計画を掲載する際には、各計画の内容を確認しやすいよう、リンクを貼るなどしてもらいたい。	関連する個別計画がわかるような資料を作成する。 ホームページへの掲載については、今後検討する。
9	大柱「コミュニティ」と「市民活動」は関連が深いので、別に柱を立てるのではなく、まとめてもよいのではないか。	ご意見を参考に、検討する。
10	金銭的なものは難しいかもしれないが、市民活動等へ参加することでポイントがもらえ、それにより何らかのメリットが受けられるようにするなど、活動に参加するきっかけを設けることで、そこを入口に市民の興味・関心を高めることができるのではないか。	ご意見として承る。